

初心者のための簡易補修

よくある破損、こう直そう

資料保存環境整備部会
平成22年度研修
2010年11月16日(火)

2010/11/16

資料保存環境整備部会

1

研修の目的・到達点

目的

よく利用される図書を、利用者に、
より長く快適に利用してもらう



方法

破損した図書を、**傷みの少ないうちに**
適切な処置を

到達点

- 補修の必要な資料を**選別**し、適切な補修方法を**判断**することができる。
- 基本的な**補修**手法を習得し、実際に補修することができる。

2010/11/16

資料保存環境整備部会

2

目次

- 補修技法を学ぶ前に
 - 資料保存の考え方
 - 資料保存の原則 (IFLA)
 - 本学の資料保存における、補修
 - 補修のワークフロー
 - 資材、道具、紙の目
- 本日の補修について
 - 本日の補修に適する資料の選別
- 参考図書

資料保存の基礎の基礎

補修技法を学ぶ前に

資料保存の考え方

プリザベーション

資料の保存対策を考える上で必要な管理や運営, 財政, 人事全般

コンサベーション

修理、修復、補修

資料保存の5つの方法

1. 防ぐ
2. 点検する
3. 取り替える
4. 治す
5. 捨てる

2010/11/16

資料保存環境整備部会

5

資料保存の原則 (IFLA)

IFLA 1979 (改訂1986) 図書館における保存と修復の原則

- 原形の尊重
- 安全な資材の使用
- 可逆的処置
- 現状維持と経過の記録

今でも重要

「治す」から「防ぐ」へ

IFLA 1998 (邦訳2003) 図書館資料の予防的保存対策の原則

この文書の中では**プリザベーション**は「予防的保存対策」として、資料が化学的に劣化していくのを遅らせ、また物理的に損傷することから守るために行う適切なセキュリティ対策、環境管理、書庫管理、取り扱いを指すことにする。一方、図書館資料の**コンサベーション**すなわち「修復保存」については、この「原則」の中ではあえて取り上げなかった。「予防的な保存」対策のほとんどが、一般職員により行われるのに対し、**「修復保存」対策は、適切な道具や設備と知見を持つ、教育を受けた専門家のみにより行われる**からである。

(序文より)

2010/11/16

資料保存環境整備部会

6

本学の資料保存における、補修

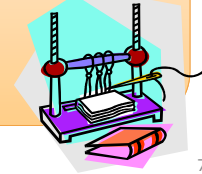
本学には、資料修復の専門家はいません。
しかし、正しい知識と技法を身につければ、
だれにでも簡単な補修は可能です。
簡単な補修を効果的におこなえば、利用者に、
資料をより長く、快適に利用してもらうことが可能になります。

無理しない

- 自分の能力を知って、わからないことはより詳しい人や部会に訊いてください
- 図書館/室の資源（人/モノ/お金/時間）の範囲で
- 日常業務に組み入れられる範囲でおこなしましょう

セカンド・ベストを目標に

- 最良の資材、道具、技術がないとできないわけではありません



2010/11/16

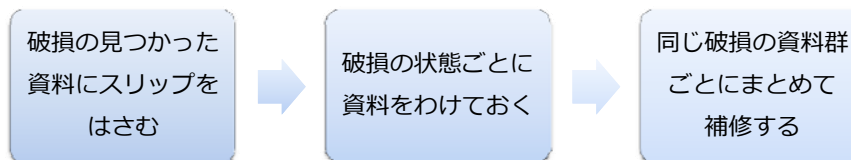
資料保存環境整備部会

7

補修のワークフロー

※ 一例です。

- 同じ破損状態の資料をまとめて処置する。



- よく使う大きさの資材（紙片）をあらかじめストックしておく。
- 日常業務の優先順位を決め、組み込む。



2010/11/16

資料保存環境整備部会

8

資材

- 紙

- なるべく中性紙
- チェックペンは必須
- 和紙
 - 薄葉紙（典具帖）
 - ノド用
- 洋紙
 - クラフト紙

- 糊

- 可逆性あり

- 生麩糊
- フェキ糊など

- 可逆性なし

- 図書館用ボンド
(PVAc ポリヴィニル
アセテート)



2010/11/16

資料保存環境整備部会

9

道具

- 必須の道具

- ヘラ
- 筆
- カッティングマット
- カッター

- 購入先

- 図書館用品
(キハラなど)
- ホームセンター
- 画材用品店
- 紙、表具専門店



わからないことがあれば、
部会にお尋ねください。
ホームページでも資材情報を
提供しています。

2010/11/16

資料保存環境整備部会

10

紙の目



基本：
図書の天地がタテ目

見分け方

- 破る
- 水をつける
- 丸めてみる

※ ヨコ目で製本された資料もあるが、意図的ではない。

2010/11/16

資料保存環境整備部会

11

対象資料の選別と資材、道具

本日の補修について

2010/11/16

資料保存環境整備部会

12

本日の補修に適する資料の選別

利用の度合い

- 開架図書／指定図書／教科書 など
- 頻繁な利用によって破損している

劣化／破損の度合い

- すぐ補修できる程度であること
- ひどい酸性劣化を起こしていないもの

稀少性

- 出版が、近～現代で、他の図書室にも所蔵されているようなもの

緊急度

- すぐに補修すれば将来の破損を防げる

資源

- すでにある資材で、すぐに補修できる
- 慣れない素材ではない

2010/11/16

資料保存環境整備部会

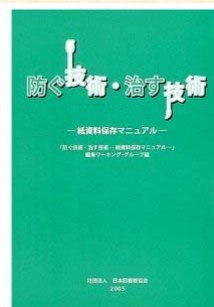
13

参考図書



小原由美子
図書館員のための図書補修マニュアル

教育史料出版会
2000年
978-4876523771



防ぐ技術・治す技術
紙資料保存マニュアル

日本図書館協会
2005年
978-4820404415

2010/11/16

資料保存環境整備部会

14